

### 高知大学 土佐FBC開講 県内食品産業の担い手育成へ

高知大学は5月13日、「平成28年度土佐フードビジネススクリエーター(FBC)開講式」を開催し、計51名の受講生(9期生)とともに新年度をスタートした。

同大では高知県内の食品産業の担い手を育成する土佐FBCを平成20年度から文部科学省学術戦略推進事業として始め、平成25年度からは高知県の寄付金講座として県内自治体、銀行、JA等の協力により運営。また今年度より、文科省による「職業実践力育成プログラム」としても認定されている。

開講式では、櫻井理事による告辞の後、受講生代表者による宣誓があった。また、高知県知事から祝辞、受田副学長から受講生の心得として「地域を活性化するローカルイノベーターの役割を担っていただきたい」と、激励の言葉が贈られた。



受講生、来賓、高知大学関係者および土佐フードビジネススクリエータースタッフらによる集合写真

### 宮崎大学 西都市・日南と連携 「西都・妻湯プロジェクト」始動



新たなプロジェクトを発表した(左から)國武副学長、堀江社長、橋田市長

宮崎大学は5月20日、西都市(宮崎県)及び(株)日南(本社・神奈川県)と連携し、西都市における温泉を活用した地域活性化のための産学・地域連携事業「西都・妻湯プロジェクト」を開始すると発表した。

「地方創生」という言葉が注目を集める中、同プロジェクトは日南が100%出資し、総工費10億円をかけて実施する妻湯温泉開発事業の一環で、観光資源の豊富な同市において、「健康な食、健康な生活につながる温泉の活用」を目指して、同大が持つ高度専門技術を取り入れで実施する。

記者会見で橋田和実西都市長は、「これまでにない素晴らしい施設となる予定で非常に嬉しく思う。特に宮崎大学が研究に関わったことは価値がある。これを機会に通行型観光から周遊滞在型観光を目指し、西都市の活性化につなげたい」と強い意気込みを示した。

引き続き、日南の堀江代表からは「自分が生まれ育った故郷に貢献したい一心から始めた計画。本事業に賛同していただいた宮崎大学には感謝するとともに、西都市の発展につなげたい」と述べ、最後に國武副学長からは「堀江社長の強い思いに感銘を受けた。地域活性化や雇用の創出につながるような事業としていきたい」と語った。

同大では、既に宮崎県をはじめ複数の市町村と連携協定を締結しており、これまで以上に、地域に根ざした連携事業を推進していく。また、平成28年度からは「地域資源創成学部」を新たに設置。理系及び文系を融合させた教育を展開するとともに、活力のある地域を創成できる人材を育成していくこととしている。